

2020 年度第一回教育課程編成委員会 議事録

日時 2021 年 3 月 16 日（火） 14：00～

場所 旭美容専門学校 3 号館

出席委員	株式会社ふらいむ シニアマネージャー	伊藤元委員
	有限会社ラボ・ビューティ取締役	佐々木昌美委員
	株式会社ブランシェ 取締役	清水克真委員
	Nail&cosmetic TOBIOKA オーナーネイリスト	前田佳苗委員（書面出席）
	旭美容専門学校 校長	長谷川雅敏
	旭美容専門学校 教務部長・美容科学科長	河村久美（司会）
	旭美容専門学校 トータルエステティック科長	豊田そのみ

オブザーバー

	株式会社ふらいむ 代表取締役社長	岩崎哲治様
書記	旭美容専門学校 事務	駒倉美佳

議事次第

1. 開会

教務部長河村から開会の挨拶がなされた。司会者となり配布資料の確認をした。

2. 学校長挨拶

校長長谷川雅敏より挨拶がなされ教育編成委員会開催の趣旨が説明された。

3. 委員の紹介

初回開催により委員会の先生方から自己紹介をしていただいた。

4. 教育課程編成委員会の進め方

教務部長河村が議長(委員長)を務める

5. 教育課程について

1) 教育課程の概要説明と質疑・応答

先ず 2020 年度卒業生の作成した概要をまとめたビデオを視聴。

その後、学校パンフレットにより補足説明。

ここ数年の傾向として大学や専門学校に進学後、または社会に出た後、学び重ね(学び直し)で入学して

来られる方が増えてきている。

本校では、ポートフォリオなどを活用し、目指す未来像をもって学習をスタートさせること。
チームワーク作りとしてクラス目標は自分たちで設定させていることなどを説明し質疑・応答。

- ・チームで学ぶことの大切さ。美容師やエステの職場は店長などリーダーとうまくやることが長く続けるために必要。そこを教えていただけるのは大変素晴らしい。
人生 100 年時代に向けて続けられる仕事として、美容、エステティックは接客業なので、色々な経験をした社会人の学び直しから美容、エステを学ばれて来ていただけるのは素晴らしい。
- ・毎年授業を担当しているが、年々自分で考えられる優秀な学生が増えている。エステティシャン志望を増やすため、社会人からの学び直しをもっと増やして行けると良いと思う。
- ・現在のエステの問題点⇒エステティシャンの不足。お客様に喜んでいただける素晴らしい仕事であることの周知が必要であると提案。
 - ・エステ界の現状としてトータルビューティ科の学生の中でビューティアドバイザーになりたい人は多いがエステティシャンになりたい人が少ない。未来像を想像させ、エステティシャンになりたいと思う人を増やしていきたい。
- ・憧れだけではない職業。販売することに抵抗を感じる学生も多い。入学されてから卒業するまでに、きれいになるために必要な商品があることを学ぶことを提案。
(お客様にきれいになっていただき、喜んでいただいて商品を購入していただける。それを外部の販売員の方たちから授業してもらい、卒業までに現実にそれが必要なことであり、結果お客様に喜んでいただける結果になることを知ってもらえるよう。)
- ・美容院は髪の毛が伸びたら来てくれる(国家資格も)。常にリピートが来てくれるように営業を真剣に考えているのがエステなどのトータル・ビューティ業界だと思う。
- ・美容科ビューティスペシャリストコース、トータルエステティック科学生の中でビューティアドバイザーにあこがれる学生は多い。未来像を見据えて検討してほしい。

2)カリキュラムと強化・教科内容についての説明と質疑・応答

- ・トータルエステティック科長豊田より、資料 5 ページよりトータルエステティック科の授業内容、美容科ビューティスペシャリストコースについて説明された。
- ・バランスのいいエステティシャンを育てるため、目標はお客様に喜んでいただけること。そのためにやはり販売の勉強は大切。ホームケアの大切さ。営業を勉強することからスタートするようにしてから離職率が下がっている。エステはお客様に結果を出せれば喜んでもらえる職業。営業もエステの仕事の一環である事を学校でも勉強する時間があればと思う。
- ・独立開業を目指してくる学生のサポートができるような授業を取り入れたら夢に寄り添える授業ができるのでは。と提案。
- ・需要より供給が多い業界。コロナ禍で厳しい中でも本物は残る。
- ・エステの将来像、日本では少子高齢化、海外進出も視野にいれる。人でしかできない仕事。AIも活用、今後のエステティシャンの進んでいく道を模索。

(議長) 貴重なご意見有難うございます。今後の授業内容の参考とさせていただきます。

3)教育課程についてのご意見

先ず、議長は本日書面出席の前田様からのご意見シートを読み上げ紹介。

- ・ネイルカリキュラムに関して、技術を身に付け、検定合格を目指すために組み立てられ、より専門性を求める方にも安心して通えると思います。
- ・ネイルの授業内容・方法に関して、ネイル科目に関しては、礎学習は、学科・実技ともにしっかりと時間がとられていて理解しうるに十分だと思います。(ネイル基礎・専攻Ⅰ・Ⅱ)
- ・スチューデントサロンについては料金を頂戴する責任など、社会に出る前に経験できることは貴重だと思います。人数をたくさんこなすために集客するための工夫などを考える課程があってもいいかも。
- ・ネイル業界における人材の専門性に関する動向にかんしては必須の技術としてネイルマシンを使ったオフやケアなどを求めるネイルサロンが増えています。アートの Know how は動画などで修得できるものもあるがネイルマシンを使えれば即戦力かも・今の学生に合わせた授業、授業でも動画の時代。

教育課程について続いて意見交換。

- ・スチューデントサロンでの取り組みは、来ていただく、買っていただくという成功体験により喜びを知ることができて良い取り組みである。
 - ・他校での取り組みを紹介。周囲の地域のイベントとなっていて地元の方に喜ばれている例、オープンキャンパスにもつなげている学校の例等紹介していただいた。
 - ・スチューデントサロンの集客については、SNS の活用を学生達が考えて実行し、成果を確認し合い伸ばしていかれてはどうか。
 - ・化粧品の販売方法として説明のポイントをまとめた資料(動画も可)を活用し緊張を緩和してお客様にお勧めできるようにすることも、よい学びになるのではないかなど具体的な提案をいただいた。
- (議長) 貴重なご意見ありがとうございます。新年度以降の学科の運営に活かしていきたいと思えます。

6. その他

I 次回会議の予定

次回の開催予定後日調整。(6月もしくは7月予定)

本委員会の議事録を作成し、議事録は学校ホームページで公開することを報告した。

7. 閉会の挨拶

校長よりお礼と今後の教科課程の編成・授業の改善に活かしていくと閉会の挨拶がなされた。

以上